

All to brighten the world

**FURUKAWA**  
**ELECTRIC**

# 古河電工グループ 2025年度決算

2026年5月12日

古河電気工業株式会社

代表取締役社長 CEO 森平 英也

代表取締役 兼 執行役員常務 CFO 青島 弘治

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

### 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 米国、欧州、日本その他のアジア諸国等の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・ 米ドル、ユーロ、アジア諸国等の各通貨の為替相場の変動
- ・ 急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・ 財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・ 諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・ 当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

### 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

## 25年度実績および26年度予想のポイント

- 25年度実績のポイント
- 26年度予想のポイント
- （参考）中東情勢緊迫化の影響について
- 株主還元

## 25年度実績および26年度予想の詳細

- 25年度実績-要約P/L、売上高・営業利益の増減要因、セグメント別売上高・営業利益  
-要約B/S
- セグメント変更について
- 26年度予想-要約P/L、売上高・営業利益の増減要因、セグメント別売上高・営業利益
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費

## 補足資料 – Appendix

2026年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

All to brighten the world

**FURUKAWA**  
ELECTRIC

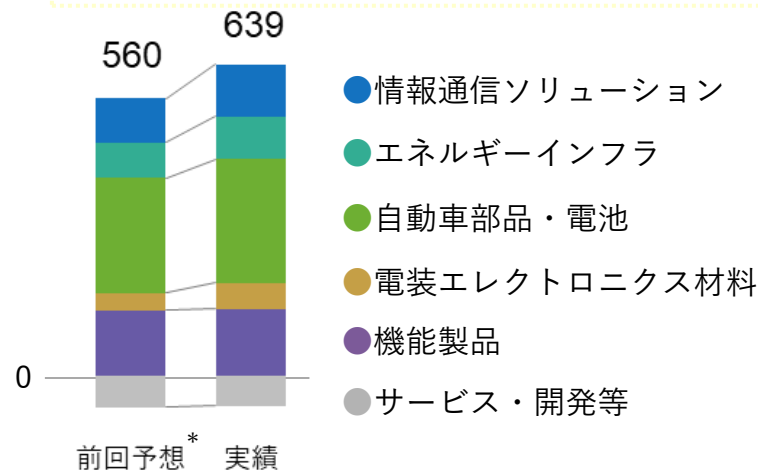
# 25年度実績および26年度予想のポイント

# 25年度実績のポイント

- データセンタ関連製品の需要増加により前年度比で増収増益
- 営業利益は639億円（前回予想比\* +79億円、すべてのセグメントで予想値を上回る）
- 25中計の各財務目標を達成

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
<b>1兆3,076億円</b> 前年同期比 +9%	<b>639億円</b> 前年同期比 +36%	<b>759億円</b> 前年同期比 +56%	<b>725億円</b> 前年同期比 +117%

営業利益：前回予想比\* +79億円



\* 2026/2/9公表

25中計：FY25財務目標・実績値

	実績値	目標値 (2022年5月26日公表)
ROIC（税引後）	<b>12.2%</b>	6%以上
ROE	<b>19.1%</b>	11%以上
Net D/Eレシオ	<b>0.6</b>	0.8以下
自己資本比率	<b>39.1%</b>	35%以上
売上高	<b>1.3兆円</b>	1.1兆円以上
営業利益	<b>639億円</b>	580億円以上
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>725億円</b>	370億円以上

# 26年度予想のポイント

- データセンタ関連製品が収益伸長に貢献
- 中東情勢による経済活動への影響について、現時点で業績予想には未反映（7ページ参照）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
<b>1兆4,600億円</b> 前年同期比 +12%	<b>950億円</b> 前年同期比 +49%	<b>1,000億円</b> 前年同期比 +32%	<b>820億円</b> 前年同期比 +13%

## データセンタ 関連製品の伸長

- 水冷モジュール製品の量産開始（26年6月予定）
- ローラブルリボンケーブル、MTフェルル、光半導体製品（DFBレーザチップ等）の売上伸長（増産投資効果を含む）
- 銅箔の製品ミックス転換

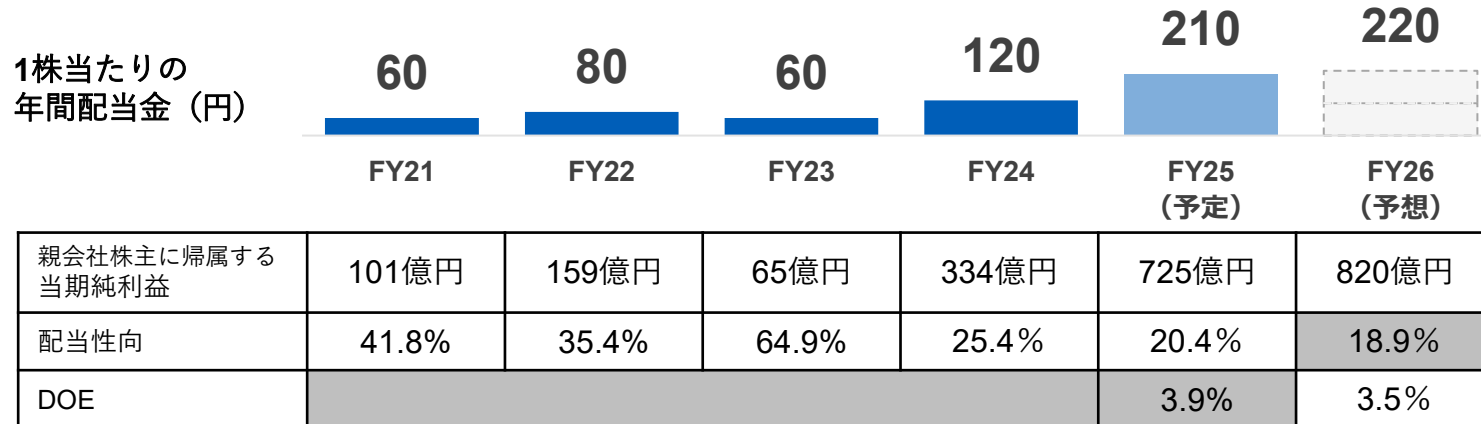
# (参考) 中東情勢緊迫化の影響について

- 原材料費（主に合成樹脂）・輸送費の上昇や、顧客需要変化等の26年度予想への影響は現時点で合理的な算出が困難なため、業績予想には未反映

	影響	対応
コスト増 (原材料・輸送費)	例 樹脂材料 消耗品・副資材 電力・ガス等のエネルギー費 輸送費	価格転嫁 代替品／代替調達先への切り替え
原材料等の不足による 販売減		
顧客需要の変化	売上減少	早期情報収集と、 それに基づく生産の最適化

- 25年度の期末配当は、1株当たり210円を予定しております（2026年2月9日公表の160円から50円増加）
- 26年度の年間配当は、1株当たり220円を予想しております。なお、中間配当の再開を予定しております

※株式分割を考慮する場合、1株当たり年間配当金は22円



## 株主還元方針の変更

安定的かつ継続的に株主還元していくことを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目途として業績に連動した配当を実施

ビジョン2030の期間（26年度～30年度）は、企業価値向上に向けた投資を進めたうえで、安定的な株主還元を行うことを基本方針とし、株主資本の3.5%を目途とした配当を実施

## 株式分割の実施

2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合をもって分割いたします

All to brighten the world

**FURUKAWA**  
ELECTRIC

# 25年度実績および26年度予想の詳細

# 25年度実績-要約P/L

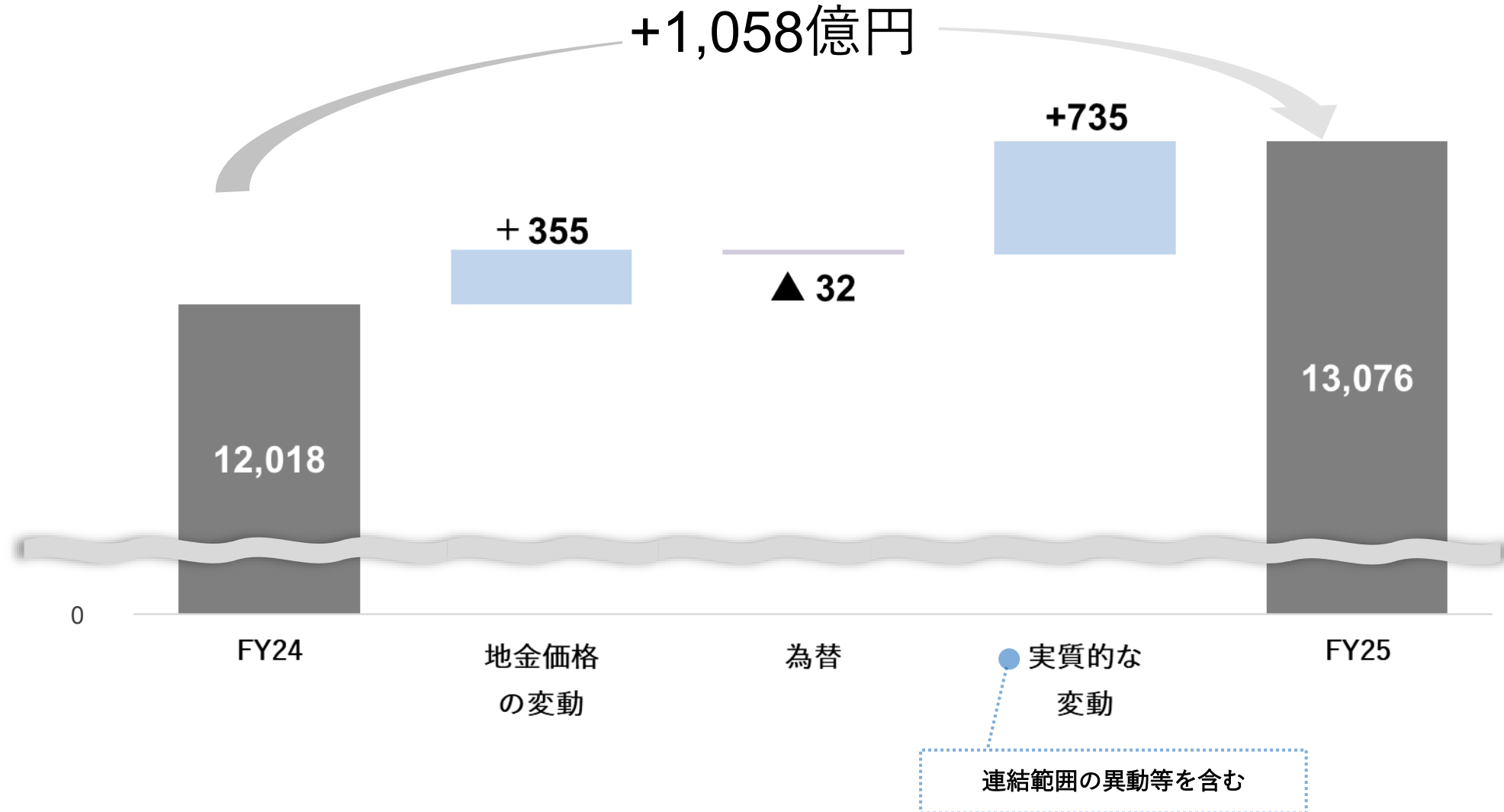
(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25	前年比	前回予想比	主な増減内訳 (通期前年比)
	a	b	c	c-a	c-b	
売上高	12,018	13,000	<b>13,076</b>	+1,058	+76	・ 11ページ参照 ・ すべてのセグメントで増収増益 ・ 銅価高騰の影響
営業利益	470	560	<b>639</b>	+168	+79	・ 12ページ参照
(率)	3.9%	4.3%	4.9%	+1.0	+0.6	
受取/支払利息	▲ 80	—	▲ 80	+0	—	
持分法投資損益	106	—	165	+59	—	・ 持分法適用関連会社が好調
為替損益	▲ 22	—	2	+24	—	
経常利益	485	650	<b>759</b>	+274	+109	
(率)	4.0%	5.0%	5.8%	+1.8	+0.8	
特別損益	55	165	291	+236	+126	
法人税等	▲ 167	—	▲ 290	▲ 123	—	特別利益： +204 (198→402) ・ 退職給付制度改定益
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 39	—	▲ 34	+6	—	特別損失： +32 (▲ 143→▲ 111) ・ 製品補償引当金繰入額の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	334	540	<b>725</b>	+392	+185	
(率)	2.8%	4.2%	5.5%	+2.8	+1.4	
銅建値 平均 (円/kg)	1,478	1,694	<b>1,695</b>	+217	+1	
為替 平均 (円/米ドル)	153	149	<b>151</b>	▲ 2	+2	

\* 2026/2/9公表

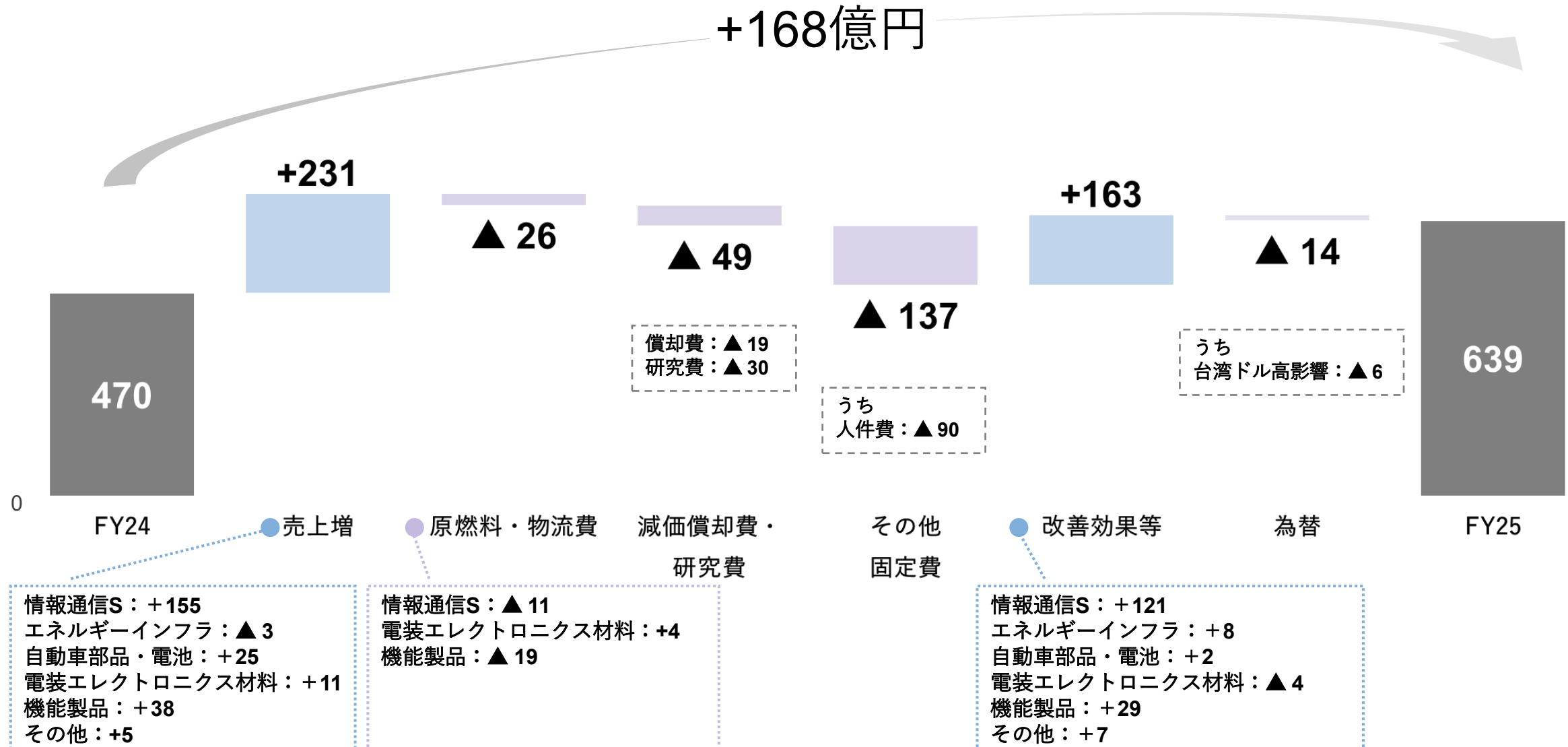
# 25年度実績-売上高の増減要因

(単位：億円)



# 25年度実績-営業利益の増減要因

(単位：億円)



# 25年度実績-セグメント別 売上高・営業利益

## ■ 全セグメントで営業利益は前回予想を上回る

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	FY24	FY25 前回予想*	FY25	前年比	前回 予想比	FY24	FY25 前回予想*	FY25	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b	d	e	f	f-d	f-e
インフラ	3,091	3,750	<b>3,709</b>	+618	▲ 41	57	180	<b>214</b>	+157	+34
情報通信ソリューション	1,670	2,350	2,293	+623	▲ 57	▲ 41	100	118	+159	+18
エネルギーインフラ	1,421	1,400	1,416	▲ 5	+16	98	80	96	▲ 2	+16
電装エレクトロニクス	7,364	7,700	<b>7,651</b>	+286	▲ 49	326	300	<b>339</b>	+13	+39
自動車部品・電池	4,095	3,950	3,978	▲ 117	+28	276	260	280	+4	+20
電装エレクトロニクス材料	3,270	3,750	3,673	+403	▲ 77	50	40	59	+9	+19
機能製品	1,470	1,550	<b>1,611</b>	+141	+61	141	150	<b>154</b>	+13	+4
サービス・開発等	348	400	<b>422</b>	+74	+22	▲ 54	▲ 70	<b>▲ 67</b>	▲ 13	+3
連結消去	▲ 256	▲ 400	<b>▲ 317</b>	▲ 61	+83	▲ 1	0	<b>▲ 1</b>	▲ 1	▲ 1
<b>連結合計</b>	<b>12,018</b>	<b>13,000</b>	<b>13,076</b>	<b>+1,058</b>	<b>+76</b>	<b>470</b>	<b>560</b>	<b>639</b>	<b>+168</b>	<b>+79</b>

# 25年度実績-セグメント別 売上高・営業利益

## インフラ

### 情報通信ソリューション

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,670	2,350	<b>2,293</b>	+623	▲ 57
営業利益	▲ 41	100	<b>118</b>	+159	+18

前年比：増収増益  
 (+) データセンタ関連製品等の売上増  
 (±) 新規連結の影響

前回予想比：上振れ  
 (+) データセンタ関連製品等の売上増  
 (+) 為替影響

### エネルギーインフラ

	FY24	FY25 前回予想*	FY25	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,421	1,400	<b>1,416</b>	▲ 5	+16
営業利益	98	80	<b>96</b>	▲ 2	+16

前年比：前年並み

前回予想比：上振れ  
 (+) 機能線・送配電部品の売上増  
 (+) 原価低減

# 25年度実績-セグメント別 売上高・営業利益

## 電装エレクトロニクス

### 自動車部品・電池

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想 <sup>*1</sup>	FY25	前年比 <sup>*2</sup>	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	4,095	3,950	<b>3,978</b>	▲ 117	+28
営業利益	276	260	<b>280</b>	+4	+20

前年比：減収増益  
 (+) 国内向け売上は微増、価格の適正化  
 (-) 電池の売上減少とQ4からの非連結化

前回予想比：上振れ  
 (+) 価格適正化

### 電装エレクトロニクス材料

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想 <sup>*1</sup>	FY25	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	3,270	3,750	<b>3,673</b>	+403 <sup>*3</sup>	▲ 77
営業利益	50	40	<b>59</b>	+9	+19

前年比：増収増益  
 (+) 需要は回復傾向  
 (+) 製品ミックスの改善

前回予想比：上振れ  
 (+) 銅価の安定による利益回復

\*1 2026/2/9公表

\*2 電池事業非連結化の影響

売上高：▲ 約210億円

営業利益：▲ 約20億円

\*3 銅価・為替変動の影響（約300億円）を含む

	FY24	FY25Q 前回予想	FY25Q4 実績	FY25
銅建値平均 (円/kg)	1,478	2,100	2,106	1,695
為替平均 (円/米ドル)	153	150	157	151

# 25年度実績-セグメント別 売上高・営業利益

## 機能製品

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	<b>FY25</b>	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,470	1,550	<b>1,611</b>	+141	+61
営業利益	141	150	<b>154</b>	+13	+4

前年比：増収増益  
 (+) データセンタ関連製品の売上増

前回予想比：ほぼ予想並み

## サービス・開発等

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	<b>FY25</b>	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	348	400	<b>422</b>	+74	+22
営業利益	▲ 54	▲ 70	<b>▲ 67</b>	▲ 13	+3

前年比：増収減益  
 (-) 新規事業立ち上げ費用の増加  
 (+) 販売会社の増収

# 25年度実績-要約B/S

(単位：億円)

	FY24末	FY25末	増減
	a	b	b-a
<b>流動資産</b>	5,564	<b>5,955</b>	+391
現金及び預金	600	692	+92
受取手形、売掛金及び契約資産	2,606	2,665	+59
棚卸資産計	1,950	2,109	+159
<b>固定資産</b>	4,316	<b>4,709</b>	+393
有形固定資産	2,770	2,769	▲ 1
無形固定資産	240	254	+14
投資その他の資産	1,306	1,685	+379
<b>資産合計</b>	9,881	<b>10,664</b>	+783
<b>流動負債</b>	3,945	<b>4,287</b>	+342
<b>固定負債</b>	2,198	<b>2,025</b>	▲ 174
<b>負債合計</b>	6,143	<b>6,311</b>	+169
株主資本	2,915	3,562	+647
その他の包括利益累計額	499	609	+109
非支配株主持分	323	182	▲ 142
<b>純資産合計</b>	3,738	<b>4,352</b>	+615
<b>負債・純資産合計</b>	9,881	<b>10,664</b>	+783
自己資本比率	34.6%	39.1%	+4.5
NET有利子負債	2,462	2,475	+13
NET D/Eレシオ	0.72	0.59	▲ 0.13
ROE	10.0%	19.1%	+9.1

## 資産合計 783億円 増加

古河電池・瀋陽古河等の再編影響	▲ 750億円
現金及び預金	+ 130億円
受取手形、売掛金及び契約資産	+ 360億円
たな卸資産	+ 280億円
固定資産	+ 300億円
投資有価証券	+ 350億円
連結範囲の異動	+ 130億円

	FY24	FY25
<b>フリーキャッシュフロー</b>	+ 526億円	<b>▲ 190億円</b>
営業CF	+598億円	+281億円
投資CF	▲ 72億円	▲ 471億円

運転資本増加 540億円

All to brighten the world

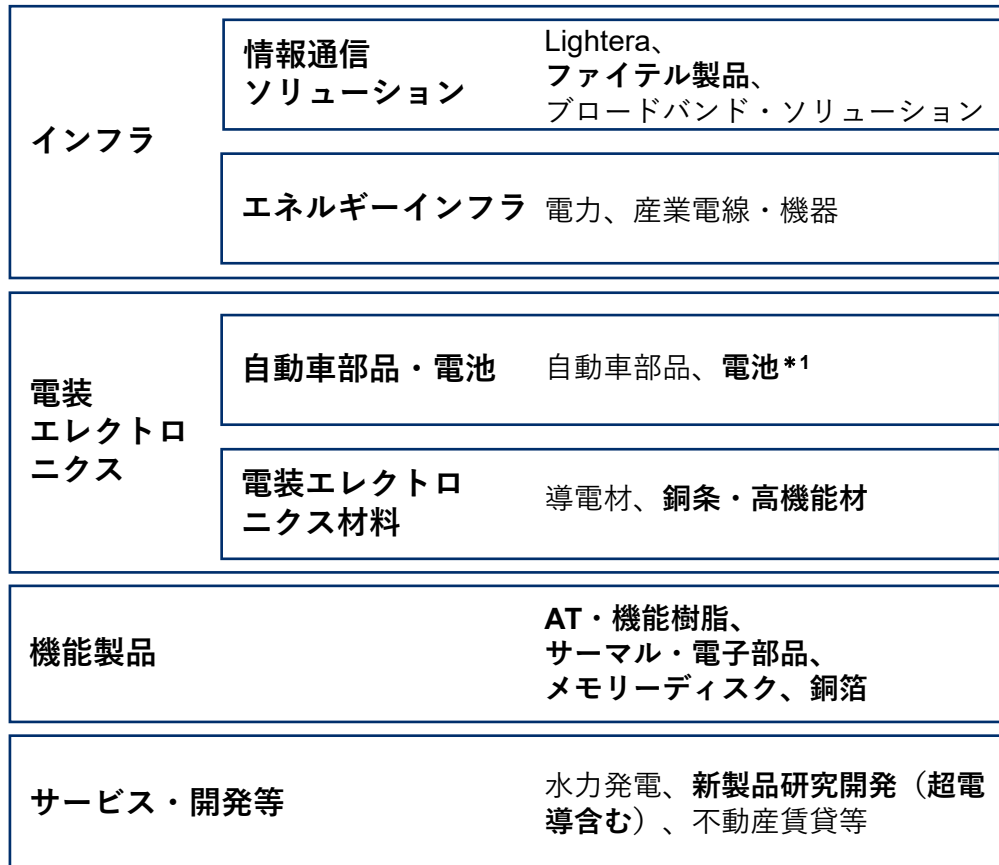
**FURUKAWA**  
ELECTRIC

# 26年度予想

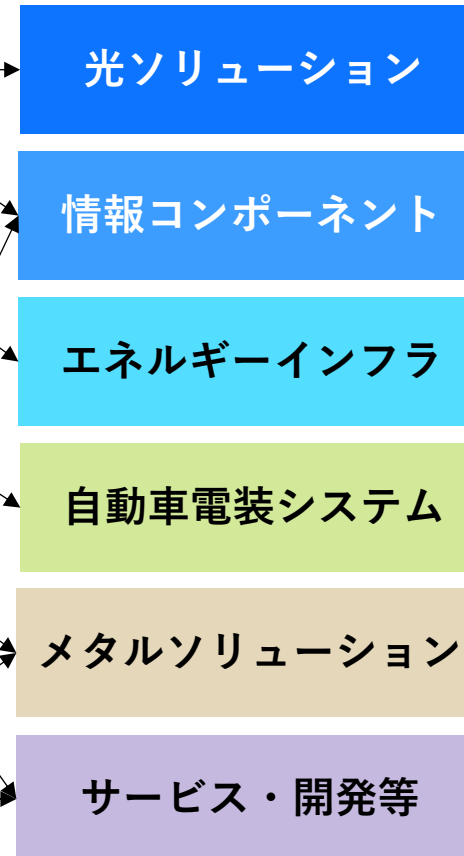
# セグメント変更について

- 2026年度より6つの新セグメントに再編（マーケットを軸に組換え）
- 執行体制を強化し、データセンタ領域での事業成長を加速

## 旧セグメント



## 新セグメント



Lightera（光ファイバ・ケーブル事業）とブロードバンド・ソリューション事業を集約

機能製品事業とファイテル製品事業を集約

電装エレクトロニクス材料事業と超電導事業を集約

銅条・高機能材事業のうち特殊金属事業を移管

\*1 電池事業はFY25Q3まで連結

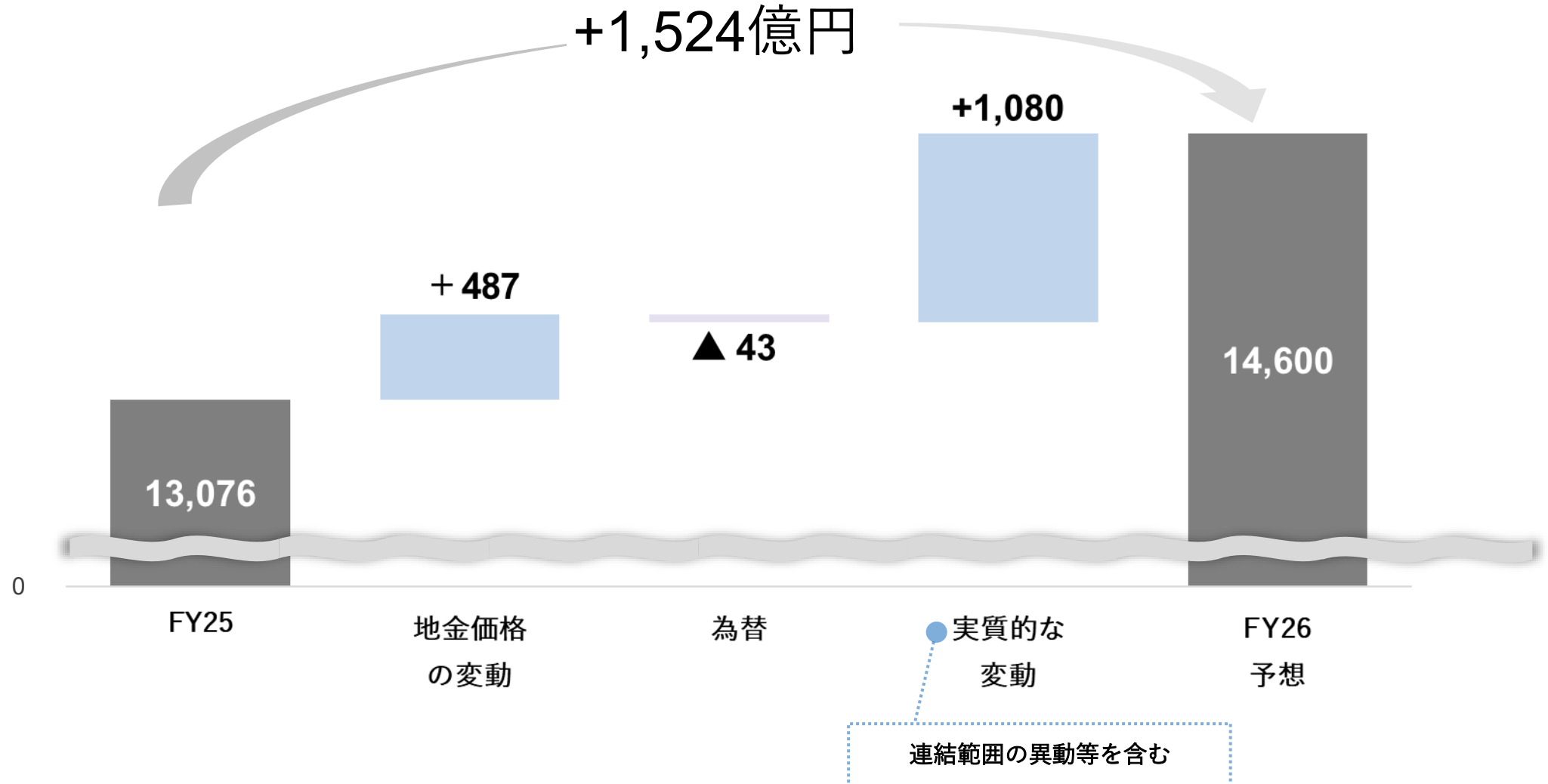
# 26年度予想-要約P/L

(単位：億円)

	FY25		a	FY26			前年比		主な増減内訳 (通期前年比)	
	H1	H2		H1	H2	予想	H1	H2		
				b			b-a			
売上高	6,107	6,969	13,076	7,000	7,600	<b>14,600</b>	+893	+631	+1,524	21ページ参照
営業利益	191	447	639	350	600	<b>950</b>	+159	+153	+311	22ページ参照
(率)	3.1%	6.4%	4.9%	5.0%	7.9%	6.5%	+1.9	+1.5	+1.6	
受取/支払利息	▲ 39	▲ 41	▲ 80	—	—	—	—	—	—	
持分法投資損益	51	115	165	—	—	—	—	—	—	
為替損益	▲ 20	21	2	—	—	—	—	—	—	
経常利益	203	556	759	370	630	<b>1,000</b>	+167	+74	+241	
(率)	3.3%	8.0%	5.8%	5.3%	8.3%	6.8%	+2.0	+0.3	+1.0	
特別損益	4	287	291	5	205	210	+2	▲ 82	▲ 80	
法人税等	▲ 62	▲ 228	▲ 290	—	—	—	—	—	—	
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 15	▲ 18	▲ 34	—	—	—	—	—	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	129	597	725	250	570	<b>820</b>	+121	▲ 27	+95	
(率)	2.1%	8.6%	5.5%	3.6%	7.5%	5.6%	+1.5	▲ 1.1	+0.1	
銅建値 平均 (円/kg)	1,461	1,929	1,695	2,000	2,000	<b>2,000</b>	+539	+71	+305	
為替 平均 (円/米ドル)	146	155	151	150	150	<b>150</b>	+4	▲ 5	▲ 1	

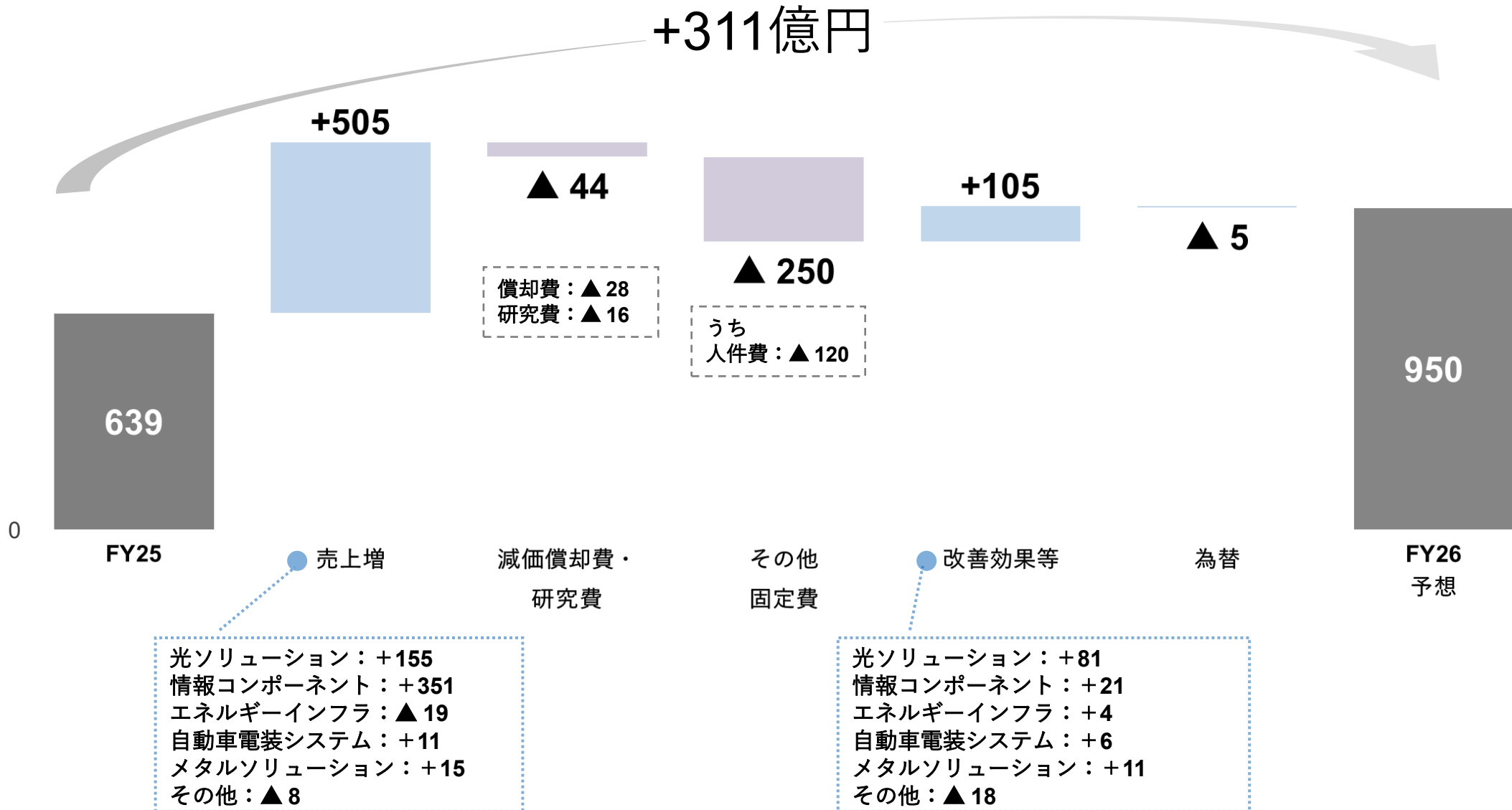
# 26年度予想-売上高の増減要因

(単位：億円)



# 26年度予想-営業利益の増減要因

(単位：億円)



# 26年度予想-セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

	売上高									営業利益								
	FY25			FY26予想			前年比			FY25			FY26予想			前年比		
	H1	H2		H1	H2		H1	H2		H1	H2		H1	H2		H1	H2	
a			b			b-a			c			d			d-c			
光ソリューション	910	1,059	1,969	1,150	1,250	2,400	+240	+191	+431	7	100	107	110	160	270	+103	+60	+163
情報コンポーネント	965	1,014	1,980	1,300	1,800	3,100	+335	+786	+1,120	63	97	159	100	290	390	+37	+193	+231
エネルギーインフラ	672	717	1,388	650	650	1,300	▲ 22	▲ 67	▲ 88	28	72	100	40	30	70	+12	▲ 42	▲ 30
自動車電装システム	1,671	1,904	3,575	1,800	1,800	3,600	+129	▲ 104	+25	103	160	264	120	110	230	+17	▲ 50	▲ 34
メタルソリューション	1,604	2,126	3,729	2,200	2,250	4,450	+596	+124	+721	16	18	34	10	30	40	▲ 6	+12	+6
サービス・開発等*	584	475	1,058	250	250	500	▲ 334	▲ 225	▲ 558	▲ 25	1	▲ 24	▲ 30	▲ 20	▲ 50	▲ 5	▲ 21	▲ 26
連結消去	▲ 299	▲ 326	▲ 625	▲ 350	▲ 400	▲ 750	▲ 51	▲ 74	▲ 125	▲ 1	▲ 1	▲ 2	0	0	0	+1	+1	+2
連結合計	6,107	6,969	13,076	7,000	7,600	14,600	+893	+631	+1,524	191	447	639	350	600	950	+159	+153	+311

\* 電池事業のFY25実績値は、サービス・開発等を含む（FY25\_Q3まで連結）

電池事業非連結化の影響

売上高：▲ 590億円

営業利益：▲ 18億円

# 26年度予想-セグメント別 営業利益

## ■ データセンタ関連製品の需要は引き続き旺盛

(単位：億円)

セグメント	FY25					FY26予想		前年比	増減益要因
	H1	Q3	Q4	H2		H1	H2		
光ソリューション	7	20	80	100	107	110	160	<b>270</b>	+163 データセンタ関連製品等の売上増 ・ローラブルリボンケーブル、MTフェルール
情報コンポーネント	63	37	59	97	159	100	290	<b>390</b>	+231 データセンタ関連製品等の売上増 ・水冷モジュール、高周波基板用銅箔、光半導体関連製品
エネルギーインフラ	28	30	42	72	100	40	30	<b>70</b>	▲ 30 概ね堅調な需要環境が継続（事業特性上想定内の推移）
自動車電装システム	103	69	91	160	264	120	110	<b>230</b>	▲ 34 固定費の増加、中国での競争激化
メタルソリューション	16	▲ 3	21	18	34	10	30	<b>40</b>	+6 概ね前年並み
連結合計 (サービス・開発等* 消去等を含む)	191	159	289	447	639	350	600	<b>950</b>	+311

\* 電池事業のFY25実績値は、サービス・開発等を含む（FY25\_Q3まで連結）

# セグメント別 売上高・営業利益（光ソリューション）

## FY26\_通期予想

(単位：億円)

	FY25	FY26 予想	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,969	<b>2,400</b>	+431
営業利益	107	<b>270</b>	+163

### 【増減益要因】

(+) データセンタ関連製品等の売上増

### 事業環境の認識

データセンタ市場向け需要増

(データセンタ事業者・ダークファイバプロバイダ・通信システムプロバイダ)

### 注力ポイント

• データセンタ向け製品の開発・増産・拡販

ローラブルリボンケーブル・  
ソリューション

MTフェルール

# セグメント別 売上高・営業利益（情報コンポーネント）

## FY26\_通期予想

(単位：億円)

	FY25	FY26 予想	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,980	<b>3,100</b>	+1,120
営業利益	159	<b>390</b>	+231

### 【増減益要因】

(+) データセンタ関連製品等の売上増

### 事業環境の認識

データセンタ市場向け需要増

### 注力ポイント

- データセンタ市場向け高付加価値製品の増産・拡販
  - 水冷モジュールの量産開始
  - 銅箔の製品ミックス転換（高周波基板用銅箔）
  - 光半導体関連製品の増産

半導体製造用テープ

高機能放熱・冷却製品

高周波基板用銅箔

光半導体関連製品

高機能フォーム製品

HDD用薄型  
アルミブランク材

- DFBレーザチップ\*1
- ラマン増幅用励起光源
- SOA\*2

\*1 Distributed Feedback Laser（分布帰還型レーザ）

\*2 Semiconductor Optical Amplifier（半導体光増幅器）

# セグメント別 売上高・営業利益（エネルギーインフラ）

## FY26\_通期予想

(単位：億円)

	FY25	FY26 予想	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,388	<b>1,300</b>	▲ 88
営業利益	100	<b>70</b>	▲ 30

- 堅調な事業環境が継続（事業特性上  
 想定内の推移）

### 事業環境の認識

国内超高压

堅調な国内地中線の更新・再エネ関連需要

海底線

機能線/部品

堅調な需要

### 注力ポイント

- ケーブル製造および工事施工能力の増強

国内超高压・海底線

再エネ関連

HVDC\*

- マーケティング活動の推進による拡販

らくらくアルミケーブル®

機能線

送配電部品

\* HVDC (High Voltage Direct Current) : 高電圧直流送電

# セグメント別 売上高・営業利益（自動車電装システム）

## FY26\_通期予想

(単位：億円)

	FY25	FY26 予想	前年比
	a	b	b-a
売上高	3,575	<b>3,600</b>	+25
営業利益	264	<b>230</b>	▲ 34

### 【増減益要因】

- ・ 市場環境は概ね堅調
- (-) 固定費の増加
- (-) 中国地域での競争激化

### 事業環境の認識

顧客の自動車生産台数は前年並み

※中東情勢の緊迫化による自動車生産台数の変化を注視

### 注力ポイント

- ・ 北米関税スキーム（USMCA）見直しへの対応
- ・ 組立の自動化
- ・ 電動車市場に向けた製品開発

アルミワイヤハーネス・高電圧対応品

# セグメント別 売上高・営業利益（メタルソリューション）

## FY26\_通期予想

(単位：億円)

	FY25	FY26 予想	前年比
	a	b	b-a
売上高	3,729	<b>4,450</b>	+721*
営業利益	34	<b>40</b>	+6

- 概ね前年並み

	FY25	FY26予想
銅建値平均（円/kg）	1,695	2,000
為替平均（円/米ドル）	151	150

### 事業環境の認識

エレクトロニクス関連製品需要は緩やかな回復傾向

### 注力ポイント

- 高付加価値製品の拡販による製品ミックス改善

無酸素銅製品群  
 （パワー半導体・放熱部品用）

リボン線・角線  
 （高性能インダクタ・メモリ用）

高機能抵抗材  
 （スマートフォン・xEV用）

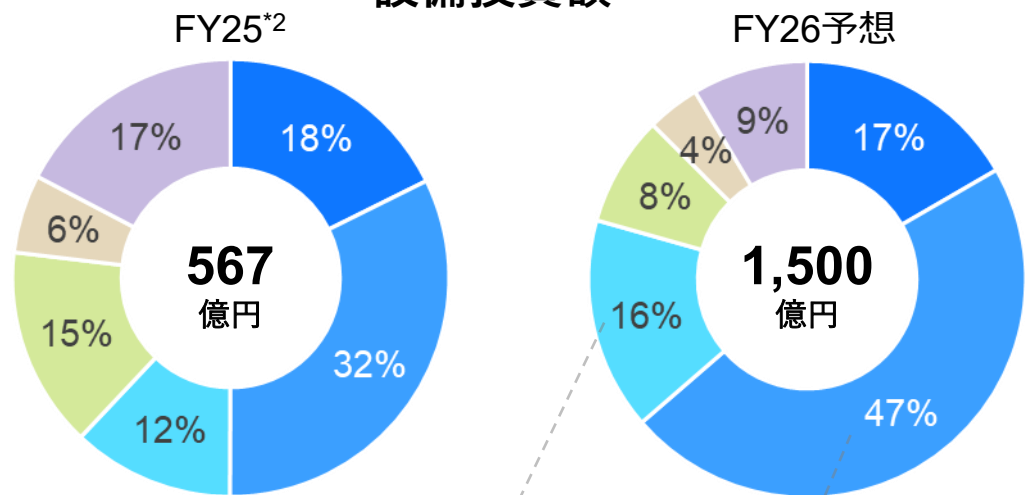
- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

\* 銅価・為替変動の影響（約500億円）を含む

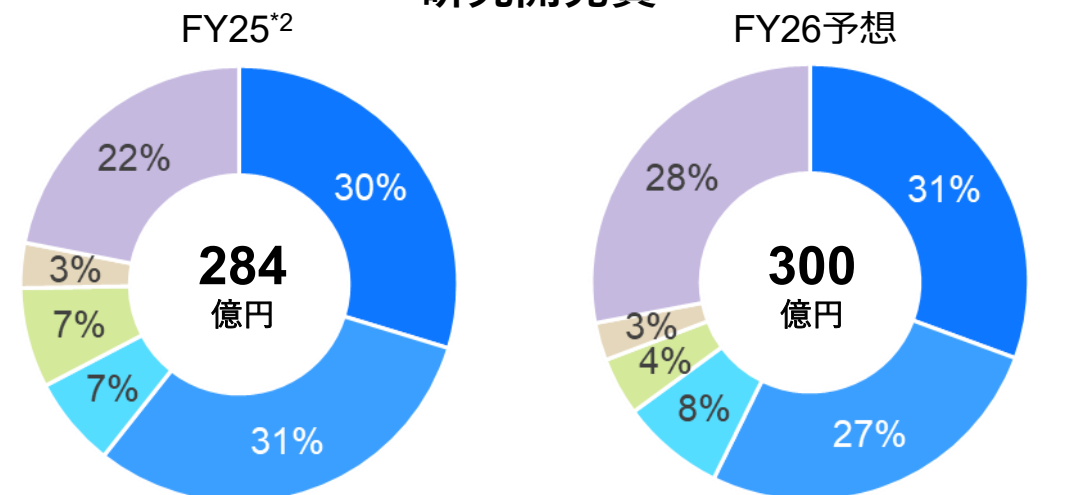
## ■ 事業利益の拡大と将来の成長に向けた活動を継続

	(単位：億円)							(単位：億円)							
	FY24	FY25 前回予想 <sup>*1</sup>	FY25	前年比	前回 予想比	FY26 予想	前年比	FY24	FY25 前回予想 <sup>*1</sup>	FY25	前年比	前回 予想比	FY26 予想	前年比	
	a	b	c	c-a	c-b	d	d-c	a	b	c	c-a	c-b	d	d-c	
設備投資額	386	600	<b>567</b>	+181	▲ 33	<b>1,500</b>	+933	研究開発費	254	290	<b>284</b>	+30	▲ 6	<b>300</b>	+16
減価償却費	413	420	<b>432</b>	+19	+12	<b>460</b>	+28								

### 設備投資額



### 研究開発費



\*1 2026/2/9公表

HVDC関連：約160億円

放熱・冷却製品：約450億円

DFBレーザ関連：約70億円

\*2 新セグメントに組換え後

● 光ソリューション  
● 自動車電装システム

● 情報コンポーネント  
● メタルソリューション

● エネルギーインフラ  
● サービス・開発等

All to brighten the world

**FURUKAWA**  
ELECTRIC

ご清聴ありがとうございました

# Thank You

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、  
世界を明るくする。



All to brighten the world

**FURUKAWA**  
ELECTRIC

# 補足資料 - Appendix

・セグメントと事業部門

# Appendix セグメントと事業部門

## FY25まで

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信 ソリューション	光ソリューション (ファイバ・ケーブル)
		ファイテル製品
	エネルギー インフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロ ニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロ ニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品	AT・機能樹脂	
	サーマル・電子部品	
	メモリーディスク	
	銅箔	
サービス・開発等		

## FY26より

Segment	Business Division
光ソリューション	Lightera
	ブロードバンド・ネットワーク
情報コンポーネント	AT・機能樹脂
	サーマル・電子部品
	メモリーディスク
	銅箔
	ファイテル製品
	光電融合デバイス
エネルギーインフラ	電力
	HVDC <sup>*1</sup>
	FEMC <sup>*2</sup> 、FEPS <sup>*3</sup>
自動車電装システム	
メタルソリューション	銅条・高機能材
	導電材
	超電導
サービス・開発等	

\*1 HVDC (High Voltage Direct Current) : 高電圧直流送電

\*2 FEPS : 古河電工パワーシステムズ株式会社

\*3 FEMC : 古河電工メタルケーブル株式会社